

研究課題名	Acute Phase Reactant Score (APRスコア) の有用性
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 新生児科 氏名 中村 利彦
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日 ～ 2023年10月
研究の意義・目的	Acute Phase Reactant Score (APRスコア) の有用性は既に、我々の研究グループが報告している。今回は、超低出生体重児の晩期敗血症（生後3日以降に発症する敗血症）の診断にAPRスコアを構成する3つのAPRのうち、 α 1-acid glycoprotein (AGP) がCRPに先行して上昇する傾向を発見した。この現象を敗血症のwarning signと名付けた。早期診断、早期治療が早産児、特に1000g未満の超低出生体重児には有益であるので、臨床研究として論文化して拡声したい。
研究の方法 (対象期間含む)	約10年間に入院した超低出生体重児のカルテより、敗血症の発症の有無、APRスコアの推移を抽出して分析する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定研究対象者数 研究全体で約100名 ・ 研究対象の症例集計期間 2011年1月～2022年8月
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①本研究に関わる全ての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学的研究に関する倫理方針」を遵守して実施する。 研究実施に係る情報を取り扱う際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮する。併せて研究独自の番号と研究対象者の個人情報との対応表を作成して保管する。研究の結果を報告する際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含めないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。 ②在胎週数、出生体重、細菌培養の結果、抗生剤内容、APRスコアの推移 ③研究責任者および共同研究分担者 ④武蔵野赤十字病院 新生児科 中村利彦
問合せ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 新生児科 氏名 中村 利彦 TEL : 0422-32-3111 (代表) 8195 (内線) FAX : 0422-32-3525